



# ひだまり

第 104号 令和3年9月発行



ツリガネニンジン (釣鐘人參)



〒916-0293 越前町江波 50-80-1 宮崎コミュニティセンター内 宮崎地域コミュニティ事務局  
TEL 0778-32-7710 FAX 0778-32-3246 E-mail m-community@miyazaki-area-c.net



【ふるさと部会】「やまぼうしの里宮崎」再生プロジェクト

## 「宮崎に咲くやまぼうし」写真コンテスト 結果発表！

地区内外からご応募いただいた 44 作品。ホームページとコミセンでの投票の結果、以下の作品が選ばれました。(撮影者氏名は応募用紙のまま。敬称略) 作品は、ぜひホームページでご覧ください。

ご応募いただいた皆さん、投票してくださった皆さん、ご協力ありがとうございました。

★最優秀賞「お散歩」山本健一



★優秀賞「初夏」笹川綾香



★優秀賞「威風堂々」ハシブー



★優秀賞「里をみおろすやまぼうし」武藤絵里子



裏面につづく



★優秀賞「白いドレス」 谷口凛

★優秀賞「やまぼうしの下で」 木原しげ子

★優秀賞「おらが村」 橋本直視



【ふるさと部会】

宮崎のいいところ満載！

みやざき **宝** まっぴ



蛭ヶ宮の大かつら



### その17 蛭ヶ宮の大かつら

伝説によると、西暦約500年頃、第24代仁賢（にんけん）天皇の皇子賢策（けんさく）太子は、兄である第25代武烈（ぶれつ）天皇によって、この地に流されました。幼かった太子は亡くなり、村人が蛭を奉じたことから、この太子を祀って建てた宮殿を蛭ヶ宮と呼びました。大かつらはその宮殿のあった場所に立っています。蛭ヶ宮の大かつらは、その木そのものがご神体で「神あおい」とも呼ばれます。昔はこの木の根元に石の祠もあったのですが、いつの間にか幹の中に包み込まれてしまったと言います。高さは約30m、根回り10mの巨木で、以前は、この木に根回り2mと1mの藤が2本巻き付き、そのうえ、幹回り1mのケヤキも斜上して、独特の景観をつくっていましたが、ご神体の大かつらが弱ってきていたので、近年切り除かれ、以前と比べるとずいぶんすっきりとした姿になりました。